

なんしゅうかい

団体紹介

CATEGORY

子育て環境日本一



府民交流フェスタ > 団体紹介 > 子育て環境日本一 > 非営利活動法人そよかぜサポート

④ 非営利活動法人そよかぜサポート

目次

- 30年以上、地域の子育てをサポート
 - 子育て・ふれあいの場提供で地域のお手伝い。
 - 母と子の教室
 - ナラダ・ママ
 - もどり場だんだん みんなのおうち
 - こそだて広場てみてふ
 - 認可外保育園 まゆあい
 - そよかぜナースリー
 - その他
 - 異世代交流の拠点、「もどり場だんだん みんなのおうち」
 - 子育て環境の充実は、各世代の孤立化解消がカギ
 - 子連れでゆっくり、安くて美味しいランチができる場所
 - 「だんだん」は、ありがとう＝感謝の意味
 - 利用者の声
 - 家庭文庫の取り組み



団体紹介



フリーワード

検索

子育て環境日本一

府民運動

文化創造

新産業創造・成長

災害・犯罪等からの安全・安心

シェア

Twitterでシェア

facebookでシェア

30年以上、地域の子育てをサポート

「子育てするなら京田辺、住むなら京田辺」。そんな地域になることを願い、「養」「信賴」「絆」を信憑に活動しておられるNPO法人そよかぜサポート。地域再生を目指す人々（点）が集え、その活動の中で繋がりが生まれ、（線）、絆が濃くなり固くなる。そんな命を育てる地域のお手伝いをしておられます。

子育て・ふれあいの場提供で地域のお手伝い。

そよかぜサポートの多岐にわたる活動の中から、いくつか具体的に紹介します。

母と子の教室

子育て中の「離れた」「しんどい」を、「この子と出会えて嬉しい」「少し楽になりました」に変えるためのお手伝いとして、1歳になるまでの期間、子ども同、親同士の交流の場を提供しておられます。

そよかぜナースリー

1、2歳児が、お母さんと離れて、週2～5日通います。自由遊びの中で自立に向かいお友だちと過ごしたり、自然が息づいている大きな森に抱かれて身体を存分に遊べます。

ナラダ・ママ

ナラダ・ママは近隣や身内の人に頼めないSOSにお役立てたらと自己研鑽を積みながら待機している有償ボランティアグループです。



もどり場だんだん みんなのおうち

3世代交流の場としてイベント・教室を開催し、ランチや食事を通じた交流を行うことができます。

こそだて広場てみてふ

子育て中の親子の交流と遊び場・情報提供の場

その他

その他にも学校法人同済社の教職員と学生の為の託児サービスと、地域のさまざまな方々を手助けする役割を担っておられます。

認可外保育園 まゆあい

0歳児（6ヶ月）～6歳児就学前サブ小規模保育園



異世代交流の拠点、「もどり場だんだん みんなのおうち」

子育て環境の充実、各世代の孤立化解消がカギ

少子高齢化、核家族化が進み、ワンオペ育児、高齢者のみの世帯などの問題を抱えているのは、日本国内の地域でも同じなのかもしれません。京田辺市でも、高齢者の多い住宅地と新しく入ってきた子育て世代の住宅地の世代の隔りは強く、施設も児童館・親子教室・高齢者施設など、年齢による区別が多い状況。昔のように3世代・4世代で子育てを支えることができないか、そんな課題意識が「もどり場だんだん みんなのおうち」のスタート地点でした。



「もどり場だんだん みんなのおうち」は、そよかぜサポートの事業の一つ。3世代交流の拠点として、自由出入りできるスペースを提供しています（コロナウイルスの影響により現在は予約のみ）。空き家を再生した施設は、レンタルスペースで趣味時間のため集まったり、ヨガ教室が開催されたりなど、活用方法はさまざま。1人でも親子でお友達同士でも、年齢に関係なく誰でも集い、食事をしたり、手作り品や野菜の買い回りもできます。

乳幼児を抱え行き場のない子育てに悩むママたち、人生のキャリアはあるものの、健康や社会的居場所に不安な高齢者たち、誰かの役に立ちたいと思っている人々など、さまざまな思いが集まって、お互いを支え合える場になっていっています。



子連れでゆっくり、安くて美味しいランチができる場所



「もどり場だんだん みんなのおうち」では、管理栄養士による、地元野菜をたっぷり使ったヘルシーなランチを提供。なんと、500円という、お気兼ねな価格が好評です。みんなのおうちスタッフが心を込めて野菜を育てており、メニューは、その日収穫した野菜が決まります。価格がお手頃な理由は、「いるいるな人に何度も利用して嬉しいかも。」と代表の村坂さん。食事を交えて交流することで、委らかく、楽しい雰囲気でお話できるそう。これを日当たりに繰り返し利用いただくお客様も多いようです。

ランチについて気になる方はこちらをご覧ください！

「だんだん」は、ありがとう＝感謝の意味

「だんだん」とは、江戸時代の頃、京都に発生した方言で、日本海側や西日本に伝わっていったとか。「もどり場だんだん」は、いろいろな人たちとの出会いに、ありがとう・大丈夫だよ・心配いらないよと、温もりのある思いやりの場にて、この拠点が成長していくことを願って名付けられました。

利用者の声



4人の女性中良グループの皆さんにもお話を聞くと、「若いお母さん世代も気軽に使えるし、子供が選んでいても目が覚めなくて、他の人の目も入るから、安心じゃないかなと思います。こんな場所がなかなかないので、食事安いから、よく利用させてもらっています。」とおっしゃっており、その場にいた皆さんも納得の様子。

また、小学交からの同級生だという8人組の女性グループの皆さんにもお話を伺いました。「コロナでずっと利用できなくなりましたが、久しぶりに来られた。自分達は高齢の世代だけれども、気軽に集まれる場所なので、良いと思う。様々な方々が利用してきて楽しい場所だと感じます。」と、みなさん談笑されていて、とても暖かい雰囲気でした。

家庭文庫の取り組み



最近になって、家庭文庫の取り組みを始められたそうです。「まだ、大規模な集まりの心配が、今後は子供達を連れて家庭文庫のようなイベントを開催できればと思っています。もどり場だんだんは軽食が読めるので、遅くならたら軽食を食べてもらえるようなことできれば良いと考えています。」と村坂さん。楽しい取り組みを通じて、利用者の方が増え、世代間の交流が進むことを願い、活動を続けておられます。

もどり場だんだん みんなのおうちのHPはこちら！

非営利活動法人そよかぜサポートHPはこちら！

⑤ 母と子の教室 MYSELF（まいるふ）

自分らしさを大切に。親に、子どもに寄り添うサポート...

⑥ 京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」広めよう

ひとりでも多くの人に歌を歌わせる。だれもが自分らしく生きる...

ネットでも！ 府民交流フェスタ

事務局：京都府政務企業創造部
（中野担当・府民活動担当付）
〒602-8570
京都府京都市上区下立売通新町西入9ノ内附
電話：075-546-4866

団体紹介

主催者の挨拶

フェスタ概要・経過

オンラインステーション

じゃんけん大会

もうひとつの京都、5.5.5.

お問い合わせ

※団体の活動についてのご意見・ご質問は、団体紹介ページにて各団体に直接お問い合わせください。